

## 2022年11月特集号

# 「アルミニウム溶解炉に用いられる耐火物の技術動向と諸問題」

「軽金属」では、2022年11月号に標記の特集号を予定しています。研究論文をはじめ、解説、技術報告等の投稿を期待しています。原稿の募集要領は下記のとおりです。なお、採択・掲載までの過程は通常原稿に準じ、編集委員会にて進めます。

### 【特集号要旨】

アルミニウム溶湯と接する耐火物の特性は、炉の性能・寿命のみならず、溶湯品質にも影響を及ぼします。かつて100回を越えて開催された軽金属学会鑄造凝固部会の中でも、素材の高品質化には「溶湯と耐火物の反応に関する知見が重要」との結論が導き出されています。一方、当該分野は、金属である溶湯側、セラミックスである耐火物側、およびそれら異種材料の界面で生じる諸反応が関わるため、各分野の垣根を取り払った研究が必要となります。そのためまとまった情報を取得しがたく、知見も多くありません。新たな発見が期待される興味深い領域です。以上を鑑み、「アルミニウム溶湯による耐火物の損傷プロセス研究部会」では、会誌「軽金属」の中で、主題に関する特集を組むこととしました。アルミニウム溶解炉および耐火物の技術動向、耐火物の損傷（反応）と分析技術、さらには溶湯品質に至るまで、幅広く投稿を募集します。

### 【特任編集委員】

田村洋介（千葉工業大学）、繁光将也（日本軽金属株式会社）、川崎正人（AGCセラミックス株式会社）

### 【原稿募集要領】

募集原稿：解説、研究論文、技術報告等

投稿締切：2022年5月20日

\* 原稿は、本誌投稿規程ならびに執筆要領に従って、投稿審査システムを通じて投稿してください。また、原稿は特集号への投稿であることがわかるように備考欄に「2022年11月特集号」とご記入ください。

### 【投稿予備登録】

投稿予定者は、2022年4月30日までに予備登録を行ってください。

「特集号予備登録」と題記して、①原稿の種類、②題目、③著者、④投稿予定日、⑤連絡先（〒、住所、所属、E-mailアドレス）を明記の上、E-mailで下記までお送りください。

### 【問い合わせ先】

一般社団法人軽金属学会 編集委員会 事務局 Tel (03)3538-0232

E-mail: [jsedit@jilm.or.jp](mailto:jsedit@jilm.or.jp)